

GENKO

通信

文部科学省
次世代地域産業人材育成刷新事業（R3～R5）
マイスター・ハイスクール事業

Hikone Technical High School

令和5年 12月 15日 No.3

令和5年度 2学期の活動②

滋賀県立彦根工業高等学校 総務部工業課

〒522-0222 彦根市南川瀬町 1310

Tel 0749-28-2201(代)



橋梁模型コンテスト（11/2・インテックス大阪・3年建設科）



棒材や板材を使いスパン80cmの橋梁に30kgを載荷するコンテストです。近畿・東海・北陸・四国・中国地方から37校の高校・大学が参加し、強度・デザイン・構造コンセプト・経済性を競い合いました。本校は残念ながら入賞とはなりませんでしたが、出展される企業のブースも多く、最先端の建設技術を学ぶ貴重な機会となりました。課題研究の地域貢献班の有志7名が色々な形状のアイデアで製作に臨みましたが、なかなかまとまらず結局、コンテストの2週間前からの製作作業になりました。高校総体や文化祭取り組みと重なり大変でしたが、プレートガーター橋をヒントに面で曲げ応力を支える構造で作りました。製作過程で学んだ技術・協力体制を就職先でも活かしていけることと思います。

コンテスト最終審査・表彰式（11/5・九州産業大学・3年建設科）



3年建設科の服部志雄さんおよび藤田ひかりさんが、第6回九州産業大学建築都市工学部全国高等学校プロジェクトコンテストで一次通過を果たし、11月5日（日）同大学で行われた最終審査に臨みプレゼンテーションを行いました。図面では表せない自分の考えるビジョンや工夫点を説明し、審査員の理解を得ることができました。結果2名とも銅賞を受賞しました。おめでとうございます。「夏休み中も学校で一生懸命取り組んだ成果が評価されてうれしいです。今後も努力していきたいです。」（本人談）



電気工事工業組合出前授業（11/8・電気科実習棟・2年電気科1組）

電気工事工業組合にご協力いただき、電気工事等の実習を行いました。班に分かれ安全教育の座学が行われ、その後、計測実習室の蛍光灯をすべてLEDに取り換える実習を行いました。多くの道具を身に着け長い脚立に上りながらの作業は、彼らにとって初体験となります。また主電源（分電盤）がどこにあるのか、その電源を切断し、声かけ、その合図で作業開始と本番ながらの実習が進みました。生徒たちの現場での感想は、仕事がおもしろい、この仕事に携わりたいと、将来を見据えている声が聞けました。最後は経験のできない高所作業車に乗って設備棟の屋上まで上がりました。



この電気工事にかかわる企画は今年度で終了します。いままで多くの電気工事に携わる方々が本校に来ていただき、電気科生徒を対象に実際の電気工事を実施していただき、そのなかで生徒は安全教育、電気工事のやりがいや、難しさを体感させていただきました。今後は電気工事の実技試験の講師として、来年度上期試験のあとから本校に数名来ていただくことになっています。

文化祭（11/16・本校・クラス展示,科展示,模擬店他）

準備期間が限られている中、課題研究や各クラス・委員会・クラブ活動等で取り組んでいる作品の展示が行われました。体験型の展示も多く、参加していた生徒が楽しんでいる様子が見えたり聞かれました。ロードトレインには、近隣の保育園より園児たちをお招きし、校内を巡行しました。とても喜んでくれ、笑顔があふれていました。午後からはロボット競技大会や、生徒会が企画した有志発表も行われ、弾き語りやコント、軽音楽部の発表、特に“AK-AI先生”の歌でとても盛り上がっていました。



3年



2年





今年度もステージ発表は中止となりましたが、模擬店が4年ぶりに再開されました。PTA役員の方々は前日から準備をしていただき、当日温かいカレーを提供してくださいました。

11/17 『マイスター・ハイスクール事業』 原子力関連施設見学会(3年)

於:福井県



3年電気科1組の生徒が関西電力(株)の原子力関連施設の見学を行いました。午前中は原発職員のトレーニングセンターである「原子力研修センター」で、実際の寸法通りに制作された燃料棒の冷却プール、同寸法の燃料棒の傷を発見する装置の取り扱いなどの実習を行いました。研修の最後には、小さな電流で感電する仕組み、また実際に感電してみる体験が行われ、濡れた手で電気製品を触ることの危険性を体験できました。午後は「エルガイアおい」でのVR体験で、原発内を見ることができました。電気というものをおもしろく身近に感じさせる施設であり、進路がほぼ内定している生徒たちにも十分記憶に残る1日となりました。

特筆すべきは生徒たちの質問内容でした。予定時間をオーバーしても次々と難易度の高い質問が繰り広げられ、驚きました。福井県からは長浜市、高島市は30Km圏内にあり、生徒たちには他人事ではないという自覚が見られました。通常なら立ち入れない場所を見学でき、貴重な経験をさせていただきました。



県ロボット大会 (11/18・瀬田工業高校・機械科/電気科)



寒風吹く今年一番寒い日に、瀬田工業高校体育館にて第30回のロボット大会が行われました。機械科2台、電気科2台、計4台で出場しました。結果は4台中、3台が準決勝に進みましたが、残念ながら決勝には残れませんでした。しかしながら、電気科の「いいです76号」が敢闘賞を受賞いたしました。各ロボットが故障し、トラブルが続く中、生徒たちは必死に修理したり、仲間の応援をするなど、寒い体育館の中で熱く取り組んでくれました。出場者は、全員が3年生でしたが、この経験を社会に出ても活かしてくれると思います。来年は後輩たちが、また、頑張ってくれることを期待しています。お疲れさまでした。

中学生体験入学② (11/19・本校実習棟・3科)

第2回体験入学には、10月7日(土)に行った第1回を超える県内35校より約150名の中学3年生が参加してくださいました。参加した方の中には、前回とは異なる科の実習体験を受けられた方や、午前の部と午後の部の両方を受けられた方もいらっしゃいました。体験後には、「最初は怖かったけどやってみたら楽しかった。」「専門的なことをわかりやすく教えてもらってよかった。もっと知りたくなりました。」「自分の学びたいことで、すごく勉強になった。」などの感想が聞けました。参加してくれた中学生、保護者の方にとって進路選択や科選択の参考となる一日となったことと思います。



10/4~11/29 『マイスター・ハイスクール事業』 ブラッシュアップ実習(2年)

於:滋賀職能短大



2年生電気科1組のブラッシュアップの取り組みの一環として、ポリテクカレッジにてシーケンス制御の講習を受けました。2学期に4回の講習を受け、来年の1月に技能検定の3級合格を目指します。最初はリレーの仕組みや動作方法を学び、後半からは、企業から寄付していただいたシーケンサを活用できるようにプログラムなどを学びました。講習の時間が限られていて、理解を深めるまではいきませんでした。何とか合格できるよう、学校や個人での取り組みを深めていきたいと思っています。

